

【広島市の消費者物価指数】平成 22 年=100

1 平成 28 年 5 月の動向

- (1) **総合指数**(104.0)は前月比で同水準。
前年同月比は **35 か月ぶりの下落**。
- (2) **生鮮食品を除く総合指数**(103.4)は前月比で 3 か月連続の上昇。
前年同月比は **35 か月連続の上昇**。
- (3) **食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数**(101.7)は前月比で同水準。
前年同月比は **32 か月連続の上昇**。

図 1 総合指数の推移

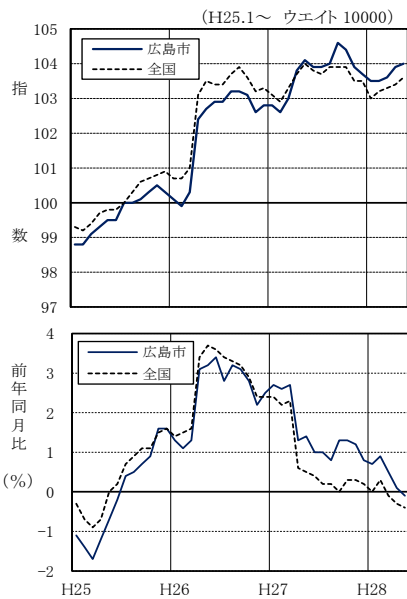


図 2 生鮮食品を除く総合指数の推移

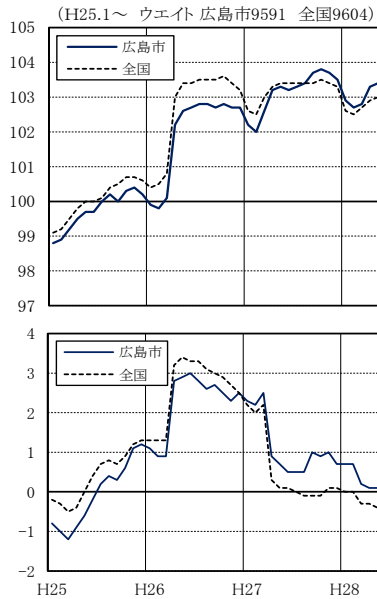
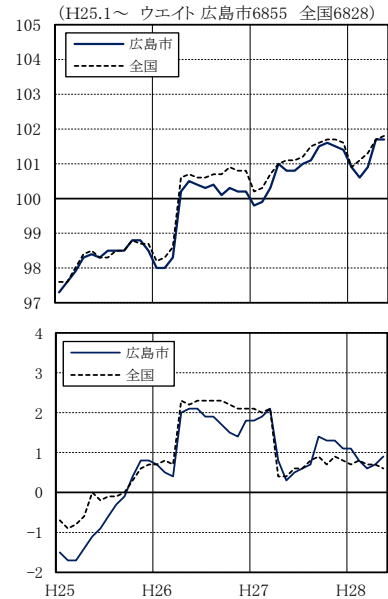


図 3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	104.0	0.0	▲0.1
生鮮食品を除く総合指数	103.4	0.1	0.1
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数	101.7	0.0	0.9

3 前月からの動き

～光熱・水道は上昇，食料は下落。～

(1) 10 大費目指数の前月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	104.0	110.4	99.0	105.7	98.7	110.5	101.3	100.3	101.8	98.8	110.6
前月比 (%)	0.0	▲0.1	▲0.1	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	▲0.1	0.5
寄与度	0.0	▲0.03	▲0.01	0.04	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	▲0.01	0.03

(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に, 各費目がどれだけ影響したかを示したもの。

本来, 寄与度の合計は, 総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが, 四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数の前月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
電気代(電気代)	0.05	教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	▲0.05
教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	0.05	肉類(牛肉[国産品] 等)	▲0.03
果物	0.03	野菜・海藻(生しいたけ 等)	▲0.03
家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	0.02	通信(携帯電話通信料)	▲0.02
シャツ・セーター類(スポーツシャツ[半袖] 等)	0.02	家事用消耗品(台所用洗剤 等)	▲0.01

4 前年同月との比較

～教養娯楽は上昇，光熱・水道及び交通・通信は下落。～

(1) 10 大費目の前年同月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 0.1	0.6	▲ 0.3	▲ 6.9	1.1	4.7	0.2	▲ 2.4	2.3	2.4	0.8
寄与度	▲ 0.1	0.16	▲ 0.06	▲ 0.56	0.04	0.21	0.01	▲ 0.32	0.07	0.26	0.05

(2) 総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	0.19	自動車等関係費(ガソリン 等)	▲0.30
外食(焼肉 等)	0.10	ガス代(都市ガス代 等)	▲0.25
教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	0.10	電気代(電気代)	▲0.25
調理食品(すし(弁当) 等)	0.08	野菜・海藻(キャベツ 等)	▲0.19
果物(バナナ 等)	0.07	魚介類	▲0.11

図4 総合指数の前年同月比及び 10 大費目別寄与度の推移

